

## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社  
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿本 敏男

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	128,855	19.9	6,128	17.7	6,200	10.4	3,447	8.5
29年3月期第2四半期	107,509	0.5	5,207	34.2	5,614	29.8	3,177	25.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,572百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 6,296百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	17.13	
29年3月期第2四半期	15.79	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	280,721	167,488	48.8
29年3月期	274,368	165,920	49.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 137,128百万円 29年3月期 135,043百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				13.00	13.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成29年11月7日)公表いたしました「平成30年3月期連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	15.3	15,300	12.9	15,800	10.1	10,400	22.6	51.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年11月7日)公表いたしました「平成30年3月期連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3 社 (社名)	WaferGen Bio-systems, Inc. Rubicon Genomics, Inc. 宝酒造インターナショナル株式会社	、	除外 2 社 (社名)	WaferGen Bio-systems, Inc. Rubicon Genomics, Inc.
-------------	--	---	-------------	--

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	217,699,743 株	29年3月期	217,699,743 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	16,476,267 株	29年3月期	16,475,731 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	201,223,863 株	29年3月期2Q	201,224,317 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

## ○ 第2四半期決算短信補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、個人消費は力強さに欠ける状況が続いております。

一方、海外においては、新興国経済の不確実性や、米国の今後の政策の影響など、世界経済は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、当連結会計年度より、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」をスタートし、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数持つことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸ばさせることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高128,855百万円（前年同期比119.9%）、売上総利益49,454百万円（前年同期比113.9%）、営業利益6,128百万円（前年同期比117.7%）、経常利益6,200百万円（前年同期比110.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,447百万円（前年同期比108.5%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

なお、平成29年2月16日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である宝酒造株式会社が、同社の海外事業を会社分割（新設分割）し、平成29年7月3日付で新設した宝酒造インターナショナル株式会社に承継させることを決議したことによって報告セグメントの見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## [宝酒造]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎は減少いたしました。清酒や引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移しましたソフトアルコール飲料が増加いたしましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料は料理清酒の好調により増加し、原料用アルコール等も増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は71,973百万円（前年同期比102.2%）となりました。売上原価は43,360百万円（前年同期比102.1%）となりましたので、売上総利益は28,613百万円（前年同期比102.4%）となりました。販売費及び一般管理費は26,621百万円（前年同期比100.5%）となりましたので、営業利益は1,991百万円（前年同期比137.2%）となりました。

## [宝酒造インターナショナルグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結会計期間末に連結子会社としましたMutual Trading Co., Inc.（米国）などの売上高が寄与し、海外日本食材卸が増加し、海外酒類でもウイスキーなどが増加しましたので、33,822百万円（前年同期比223.4%）となりました。売上原価は23,845百万円（前年同期比236.4%）となりましたので、売上総利益は9,976百万円（前年同期比197.5%）となりました。販売費及び一般管理費は7,753百万円（前年同期比211.9%）となりましたので、営業利益は2,223百万円（前年同期比159.6%）となりました。

## [タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新規連結子会社の寄与に加え、受託サービスが前年同期を大きく上回り、14,126百万円（前年同期比107.0%）となりました。売上原価は売上高の増加により、また新規連結子会社の取得にともなう無形資産償却費の計上もあり、5,965百万円（前年同期比115.8%）となりましたので、売上総利益は8,160百万円（前年同期比101.4%）となりました。販売費及び一般管理費は新規連結子会社の人件費やのれん償却額等の増加により、7,471百万円（前年同期比112.0%）となりましたので、営業利益は、688百万円（前年同期比50.0%）となりました。

## [その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、物流事業などが好調でありましたので、19,246百万円（前年同期比103.2%）となりました。売上原価は16,087百万円（前年同期比101.3%）となりましたので、売上総利益は3,158百万円（前年同期比114.2%）となりました。販売費及び一般管理費は1,786百万円（前年同期比99.8%）となりましたので、営業利益は1,371百万円（前年同期比140.4%）となりました。

## 品種別販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	28,077	27,449	97.8
清酒	8,353	8,619	103.2
ソフトアルコール飲料	15,798	17,489	110.7
その他酒類	3,463	3,160	91.3
酒類計	55,692	56,719	101.8
本みりん	6,822	6,735	98.7
その他調味料	4,454	4,703	105.6
調味料計	11,276	11,439	101.4
原料用アルコール等	3,460	3,814	110.2
計	70,429	71,973	102.2
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	4,604	5,055	109.8
海外日本食材卸	10,789	29,694	275.2
その他	—	21	—
グループ内連結消去	△256	△949	—
計	15,137	33,822	223.4
タカラバイオグループ	13,199	14,126	107.0
報告セグメント計	98,766	119,922	121.4
その他	18,648	19,246	103.2
セグメント計	117,415	139,168	118.5
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△9,906	△10,312	—
合計	107,509	128,855	119.9

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は166,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,041百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が17,643百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,054百万円、有価証券が6,412百万円、商品及び製品が1,721百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は113,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,394百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が12,366百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は280,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,353百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は54,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,178百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が10,000百万円減少したことによるものであります。固定負債は58,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,963百万円増加いたしました。これは主に社債が15,535百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は113,232百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,784百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は167,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,568百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が832百万円、その他有価証券評価差額金が1,482百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が583百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.8%（前連結会計年度末は49.2%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益6,313百万円、減価償却費3,157百万円、たな卸資産の増加2,162百万円、法人税等の支払額3,485百万円などにより3,169百万円の収入と前年同期に比べ825百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出3,868百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出12,396百万円などにより17,118百万円の支出（前年同期は3,088百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入14,887百万円、社債の償還による支出10,000百万円、配当金の支払額2,612百万円などにより1,931百万円の収入（前年同期は2,625百万円の支出）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より12,701百万円減少し、46,063百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における当社グループの連結業績は、売上高および営業利益ともに期初計画を上回って推移しております。第3四半期以降につきましても、宝酒造インターナショナルグループをはじめ各事業とも堅調に推移する見込ではありますが、子会社の株式譲渡により当該子会社が連結除外となることから売上高、営業利益の減少が発生するため、第3四半期以降のグループ全体の業績は概ね期初計画通りとなる見通しです。

こうした状況をふまえ、通期の連結業績予想につきましては、売上高を2,000百万円、営業利益を1,300百万円、経常利益を1,400百万円、それぞれ前回発表予想から上方修正しております。また、子会社株式譲渡に係る特別利益を計上する見込であることから、親会社株主に帰属する当期純利益については1,900百万円上方修正しております。

詳細については、本日（平成29年11月7日）公表いたしました「平成30年3月期 連結業績予想ならびに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,073	40,429
受取手形及び売掛金	57,951	59,005
有価証券	13,237	19,650
商品及び製品	35,300	37,021
仕掛品	1,244	1,517
原材料及び貯蔵品	3,306	3,701
その他	5,035	5,837
貸倒引当金	△236	△294
流動資産合計	173,912	166,870
固定資産		
有形固定資産	59,174	58,414
無形固定資産		
のれん	6,626	13,964
その他	3,630	8,658
無形固定資産合計	10,256	22,623
投資その他の資産		
投資有価証券	25,583	27,632
その他	5,533	5,271
貸倒引当金	△90	△91
投資その他の資産合計	31,025	32,813
固定資産合計	100,456	113,851
資産合計	274,368	280,721
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,804	15,627
短期借入金	9,206	9,418
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払酒税	7,593	10,387
未払費用	5,562	5,395
未払法人税等	2,468	1,472
賞与引当金	2,449	2,558
その他の引当金	2,002	1,876
その他	9,418	7,590
流動負債合計	65,506	54,327
固定負債		
社債	10,000	25,535
長期借入金	10,996	10,890
退職給付に係る負債	8,961	8,985
長期預り金	5,342	5,328
その他	7,640	8,164
固定負債合計	42,941	58,905
負債合計	108,447	113,232

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	1,650	1,802
利益剰余金	119,729	120,561
自己株式	△9,939	△9,939
株主資本合計	124,667	125,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,583	11,066
繰延ヘッジ損益	0	188
為替換算調整勘定	1,426	842
退職給付に係る調整累計額	△634	△620
その他の包括利益累計額合計	10,375	11,476
非支配株主持分	30,877	30,360
純資産合計	165,920	167,488
負債純資産合計	274,368	280,721



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	107,509	128,855
売上原価	64,073	79,401
売上総利益	43,435	49,454
販売費及び一般管理費	38,228	43,326
営業利益	5,207	6,128
営業外収益		
受取配当金	266	291
持分法による投資利益	163	—
その他	300	384
営業外収益合計	731	675
営業外費用		
支払利息	213	325
その他	110	276
営業外費用合計	324	602
経常利益	5,614	6,200
特別利益		
投資有価証券売却益	0	160
その他	20	13
特別利益合計	21	173
特別損失		
固定資産除売却損	42	59
投資有価証券評価損	15	—
その他	2	1
特別損失合計	60	61
税金等調整前四半期純利益	5,575	6,313
法人税、住民税及び事業税	2,321	2,351
法人税等調整額	△239	108
法人税等合計	2,082	2,459
四半期純利益	3,492	3,853
非支配株主に帰属する四半期純利益	315	405
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,177	3,447

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	3,492	3,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	516	1,482
繰延ヘッジ損益	△477	191
為替換算調整勘定	△9,375	△980
退職給付に係る調整額	△1	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△450	—
その他の包括利益合計	△9,788	719
四半期包括利益	△6,296	4,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,088	4,549
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,207	23

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,575	6,313
減価償却費	2,492	3,157
受取利息及び受取配当金	△364	△373
支払利息	213	325
売上債権の増減額 (△は増加)	108	△838
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,445	△2,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	△221	△1,380
未払酒税の増減額 (△は減少)	△410	2,794
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△778	△1,295
その他	135	42
小計	5,304	6,583
利息及び配当金の受取額	399	393
利息の支払額	△212	△322
法人税等の支払額	△3,147	△3,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,343	3,169
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,777	△6,460
定期預金の払戻による収入	4,263	6,014
有価証券の取得による支出	△9,387	△3,751
有価証券の売却及び償還による収入	14,765	2,474
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,518	△3,868
有形及び無形固定資産の売却による収入	198	471
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△309	△12,396
その他	△145	397
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,088	△17,118
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の発行による収入	—	14,887
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△2,410	△2,612
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△181
その他	△215	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,625	1,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,436	△682
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	369	△12,701
現金及び現金同等物の期首残高	32,536	58,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,905	46,063

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がWaferGen Bio-systems, Inc.の株式を取得したことにより、同社ならびに同社の子会社であるWaferGen Biosystems Europe S.a.r.l.およびWaferGen, Inc.を連結の範囲に含めましたが、当第2四半期連結会計期間において、同社およびWaferGen, Inc.は、連結子会社であるTakara Bio USA, Inc.を存続会社とする吸収合併により消滅したため、また、上記の組織再編以降のWaferGen Biosystems Europe S.a.r.l.は、休眠会社となり重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。なお、このうちWaferGen Bio-systems, Inc.は、当社の特定子会社に該当しておりました。

また、第1四半期連結会計期間において、Takara Bio USA Holdings Inc.がRubicon Genomics, Inc.の株式を取得したことにより、同社を特定子会社として連結の範囲に含めましたが、第1四半期連結会計期間において、同社は、連結子会社であるTakara Bio USA, Inc.を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

当第2四半期連結会計期間において、宝酒造インターナショナル株式会社は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

&lt;変更後の区分方法により作成した前第2四半期連結累計期間の情報を記載&gt;

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	70,412	14,951	12,769	98,133	9,375	107,509	0	107,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	186	429	633	9,272	9,906	△9,906	—
計	70,429	15,137	13,199	98,766	18,648	117,415	△9,906	107,509
セグメント利益	1,451	1,393	1,377	4,222	976	5,199	8	5,207

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去30百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△22百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	71,818	33,618	13,772	119,208	9,646	128,855	0	128,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	155	204	354	713	9,599	10,312	△10,312	—
計	71,973	33,822	14,126	119,922	19,246	139,168	△10,312	128,855
セグメント利益	1,991	2,223	688	4,904	1,371	6,275	△147	6,128

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務委託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去16百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△163百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年2月16日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である宝酒造株式会社が、同社の海外事業を会社分割(新設分割)し、平成29年7月3日付で新設した宝酒造インターナショナル株式会社に承継させることを決議したことによって報告セグメントの見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より「宝酒造」「宝酒造インターナショナルグループ」及び「タカラバイオグループ」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がWaferGen Bio-systems, Inc.およびRubicon Genomics, Inc.の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては7,713百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得及び消却)

当社は平成29年11月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること、及び会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

「宝グループ中期経営計画2019」に掲げる「健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによってROEを向上させ、適正な株価水準を実現する」という財務方針に則り、資本効率の向上を図るとともに、1株当たりの株主価値を高め、株主の皆様への利益還元を充実させるために、自己株式の取得及び消却を行うものであります。

## 2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式   |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 200万株 (上限)<br>(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 0.99%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 20億円 (上限)                                      |
| (4) 株式の取得期間    | 平成29年11月10日より平成29年12月22日まで                     |
| (5) 株式の取得の方法   | 東京証券取引所における市場買付                                |

## 3. 自己株式の消却の内容

- |               |                                      |
|---------------|--------------------------------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式                               |
| (2) 消却する株式の総数 | 1,600万株<br>(消却前の発行済株式総数に対する割合 7.35%) |
| (3) 消却日       | 平成29年12月29日                          |

## (重要な子会社等の株式の売却)

当社の連結子会社である宝酒造株式会社 (以下、「宝酒造」という) は、平成29年11月7日開催の取締役会において、同社の完全子会社であるタカラ長運株式会社 (以下、「タカラ長運」という) の全株式をアスパラントグループ株式会社 (以下、「AG」という) が運営・管理するAG2号投資事業有限責任組合 (以下、「AG2号ファンド」という) が保有する株式会社アスパラントグループSPC4号 (以下、「SPC」という) に譲渡することを決議し、株式譲渡契約を締結いたしました。

## 1. 株式譲渡の理由

宝グループでは、当期より3カ年の経営計画「宝グループ中期経営計画2019」に取り組んでおり、宝酒造 (国内事業)、宝酒造インターナショナルグループ (海外事業)、タカラバイオグループ (バイオ事業) の3つの事業セグメントに経営資源を集中した成長戦略を描くとともに、資本効率のさらなる向上を目指しています。

タカラ長運は平成18年に当社の連結子会社であるタカラ物流システム株式会社が出資を行い、その後、平成26年に宝酒造の100%子会社となり、輸送、保管、工事等の物流関連サービスで安定した事業収益を上げてまいりましたが、当社グループが注力する3事業セグメントとの十分な事業シナジーを生むには至っておりません。

このような状況のもと、このまま当社グループ内でタカラ長運の事業を継続していくよりは、同社を譲渡することにより獲得した資金を上記の3事業セグメントに投下し、さらなる経営資源の集中をはかることが当社グループの企業価値の向上に資すると判断いたしました。

そこで、タカラ長運が有する重量物運搬・据付に関する高い技術力を含む事業資産を最大限活かし、同社の企業価値をさらに高めることができる株式譲渡先を検討しておりましたところ、投資ファンドの運営などを主な事業とするAGが交渉先となり、最終的にはAGが管理・運営するAG2号ファンドが保有するSPC (特別目的会社) にタカラ長運の全株式を譲渡することを決定いたしました。

## 2. 譲渡する相手会社の名称

株式会社アスパラントグループSPC4号

## 3. 譲渡の時期

平成30年1月5日(予定)

## 4. 当該子会社等の名称、事業内容、会社との取引内容ならびに直前事業年度の財政状態及び経営成績

名称	タカラ長運株式会社
事業内容	運送事業、倉庫業、工事事業、通関業
当社との取引内容	当社から当該子会社との間にサービス提供等の取引があります。
直前事業年度の財政状態及び経営成績	
総資産	4,129百万円
売上高	5,581百万円
営業利益	408百万円
当期純利益	285百万円

## 5. 譲渡する株式の数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

譲渡する株式の数	10,000,000株
譲渡価額	譲渡価額につきましては、株式譲渡相手先との株式譲渡契約における守秘義務を踏まえ、開示を差し控えさせていただきます。当該価額については、公正なプロセスを経て株式譲渡相手先との交渉により決定しており、公正価額と認識しております。
譲渡益	33億円(予定)
譲渡後の持分比率	—%